

## 株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
期末配当金受領株主確定日	12月31日
中間配当金受領株主確定日	6月30日
定時株主総会	毎年3月
株主名簿管理人 および 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	ジャスダック証券取引所
公告の方法	電子公告により行います。 公告掲載URL <a href="http://www.jacjapan.co.jp/">http://www.jacjapan.co.jp/</a> (ただし、やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。)

(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## 社名変更のお知らせ

当社は、この2009年4月1日付で社名を「株式会社 ジェイ エイ シー ジャパン(JAC Japan Co., Ltd.)」から「株式会社 ジェイ エイ シー リクルートメント(JAC Recruitment Co., Ltd.)」に変更します。  
これからも、求人企業やご転職者に対し、当社および人材紹介サービスのさらなる認知と浸透を図り、事業の拡大に努めてまいります。

## 第22期 株主通信

2008年1月1日～2008年12月31日



## 株主の皆様へ

株主の皆様には、日ごろよりご理解とご支援を賜りまして、厚く御礼申し上げます。

2008年後半期より未曾有の景気悪化局面に突入したなかでの私の役目は、人材ビジネスの先進国・英国における30余年の事業経験を考慮に入れた経営を推し進めて、事業効率を高め、確実に利益を創出する強い組織作りを進めることで、JAC Recruitment(ジェイエイシーリクルートメント)を再度、成長軌道に乗せることと任じています。

急速に人材マーケットが拡大するなか、JAC Recruitmentは、新卒採用を中心とした正社員の大幅な増員によって、この5年間、人材紹介事業で年平均40%の成長を果たしてきました。その一方、社内では、増員に比例した管理体制の整備や、経営方針の浸透の遅れから、業務効率が低下しておりました。マネジメントを強化するなど軌道修正を急ぎましたが、そこに急速な景気悪化が襲い掛かり、さらなる大幅な軌道修正を余儀なくされました。社長に就任して約1年、根本的な社内改革を実施し、必要な手は適宜に打ってまいり

ました。後はそれらが完全に定着するまで継続し、また、この不況下におけるマーケットの変化に常時素早く対応することで、無駄のない効率的かつ論理的な会社運営によって、マーケットでしっかり勝ち残っていけるよう、全力投球してまいります。

JAC Recruitmentのミッションは、会社の限らない成長です。それは設立以来、現在に至っても変わることはありません。具体的には、1.顧客の満足、2.ご登録者の満足、3.株主の満足、4.社員の満足を図り、5.社会への貢献を果たすことです。そのために、JAC Recruitmentの企業文化であり、経営理念であるPhilosophy & Policyを全社員で共有し、意識の向上に努めています。

### 「Philosophy」

**Freedom & Discipline** = 自由と規律の精神  
**Fairness** = 競争原理を奨励し、チャンス全員に与える

### 「Policy」

**Speed** = 迅速な対応力  
**Sincerity** = いかなる時も誠実をモットーとする  
**Attitude** = 謙虚で実直  
いつもプロフェッショナルとしての態度を

このPhilosophy & Policyは、JAC Recruitmentの継続的な成長と発展の礎となってきました。今後もこれを胸に改革を推し進めることで、収益性を高め、株主の皆様のご期待を実現していきたいと存じます。今後とも皆様のご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長  
田崎ひろみ

## JAC Recruitmentの今後の方向性

当社の主力事業である人材紹介サービスの方向性は、以下の通り堅持していきます。

### 1 国際的な人材紹介会社としての成長

当社は設立以来、国際的な企業や国際的な人材を支援する分野で、強みを発揮してきました。

世界的な景気後退のなかでも、現状を好機にした海外事業の強化や見直しに適した人材を求め企業があります。当社は、日本における外資系企業への人材紹介におけるノウハウと実績を生かし、International Recruitment Consultancy(インターナショナルリクルートメント コンサルタンシー)としての成長を目指します。

### 2 「各カテゴリーNo.1」戦略の推進

マーケットとそのニーズを細分化した各カテゴリーで専門性を高めながら、マーケット全般において総合的に力を発揮していきます。

業界や職種に専門特化しその分野に精通した「ブティック型」の人材紹介会社の強みと、業界・職種に広く対応する「総合型」の人材紹介会社としての強みを生かして、顧客企業とご登録者(求職者)のニーズにきめ細かく応えています。この戦略を推進してきた結果、当社の強みは特定業界に限ることはなく、広く全業界に渡っております。これから各カテゴリーにおける売上高No.1、そして人材業界におけるシェア拡大を目指します。

図1 業界別売上高構成比  
(人材紹介事業)

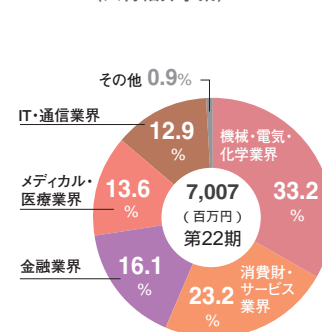
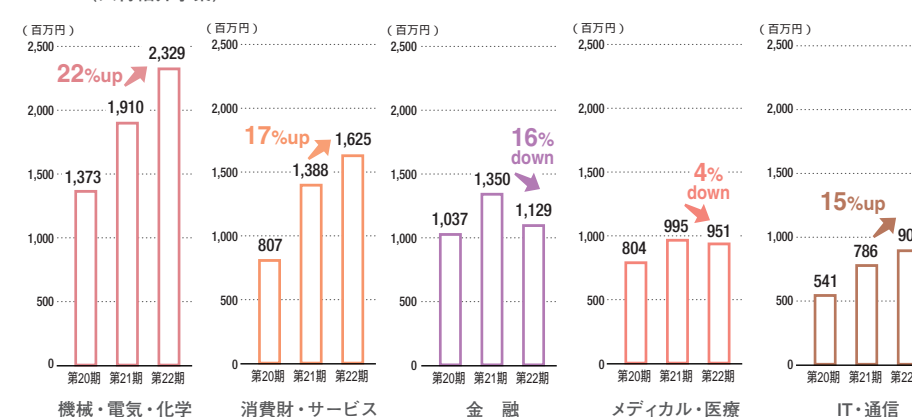


図2 業界別売上高推移  
(人材紹介事業)



## 第22期の業績と第23期の施策

第22期(2008年12月期)については、売上高は77億79百万円、売上総利益は71億44百万円、営業損失は55百万円、経常損失は41百万円、当期純損失は8億33百万円となりました。当期純損失のうち、5億57百万円の赤字については、事業再構築のために行った希望退職者募集などによる特別損失が含まれています。

営業損失の発生は、生産性の低下による売上高の伸び悩みに起因します。

当社は02年4月に新卒採用を開始して以来、新卒採用を中心にしたコンサルタント数の増強を事業拡大の軸にして、飛躍的な成長を実現してまいりました。08年も既存のコンサルタント数の約3割にあたる200名を新卒入社社員として採用し、マーケットの拡大を図ってまいりました。しかしその生産性は想定をはるかに下回り、増員数に見合った成約件数を獲得できませんでした。既存コンサルタントの生産性については、教育体制の強化などにより、改善の兆しが見えてきていましたが、9月のリーマン・ショックを境にした急速な景気悪化により、顧客企業の採用計画の凍結や中止が相次ぎ、マーケットは大きく減退、それにより、マーケットニーズとコンサルタント数のバランスが大きく崩れる結果となりました。

求人要件についても、各業界の業績の悪化に比例して、経験値が浅いコンサルタントが成約できる求人は激減しました。顧客企業における人材要件は、今までに無く高度で難しいレベルへと推移し、成約にはコンサルタントの質と経験が問われるマー

ケットに変貌しました。これにより、08年11月、12月の売上高について前年同月割れを予想、同時にマーケットの早期回復が望めないことを想定し、マーケットニーズに対するコンサルタント数の適正化に踏み切りました。09年1月に約800名の全社員を対象に300名の希望退職者を募集、同時に09年4月入社予定の採用内定者約130名を対象に採用内定辞退を募集し、その結果、希望退職者299名と内定辞退者106名の計405名を削減いたしました。

人員削減以外のあらゆる経費の削減も実行します。役員報酬を平均31%、執行役員の報酬および部長・支店長の給与についても平均14%を減額とし、東京一橋オフィスの閉鎖も既に決定しています。それに加えてその他経費の節減により、09年6月以降は08年末の月間経費に比べてマイナス35%の経費削減を実施いたします。

さらに第23期(2009年12月期)は、第22期から実施してきた営業施策のうち、次の3つの施策を強化します。

### ■ 筋肉質の組織へ

生産性を重視した強い組織の構築を図ります。この強い組織作りで最も重要なのは、すべてのコンサルタントが個々に力をつけ、それぞれが高い成果をもたらすことです。それに向けての投資として、コンサルタントの教育に力を注ぎます。

求人要件とご登録者の希望条件をマッチングさせるだけでな

く、各業界や職種に精通した知識をもって、顧客企業やご登録者に様々な可能性を提案できるコンサルタントを増殖していきます。そのために、営業部門の部長を人材開発に配置し、教育担当も増員するなど人材開発部門を強化しました。中間管理職や部拠点マネージャーの教育も改めて徹底しています。また、社員の評価・処遇も見直しを図り、成果主義をシステム化して再導入し、推し進めていきます。

### ■ マーケティングの強化

不況下ですべての業界が落ち込んでいるのではなく、同じ業界でも積極的に優秀な人材の確保に乗り出す企業と、当面の採用

を凍結または停止する企業との明暗が顕著になってきています。第23期はこうしたマーケットニーズに素早く対応し、日々変化するマーケット動向に合わせた顧客企業の開拓と的確な営業要員の配置、そのニーズに合わせたご登録者の集中募集などマーケティングプロセスを最適化し、費用対効果の向上を図ります。

### ■ 営業管理体制の強化

著しく変化するマーケットから、ビジネスの機会を選別し、迅速な"対応"と確実な"結果"をもたらすために、業界を熟知した者を採用し役員に抜擢しました。新体制による事業革新を進め、早期の黒字基調の定着を目指しています。

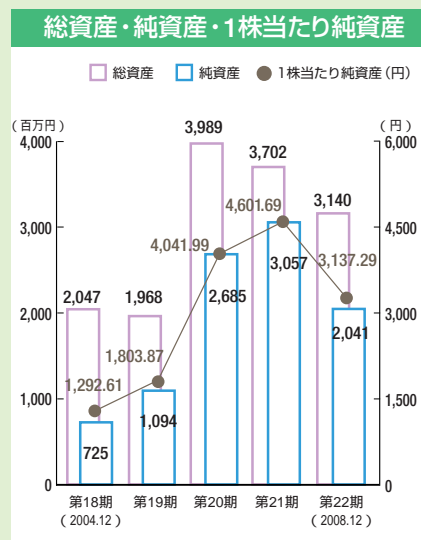
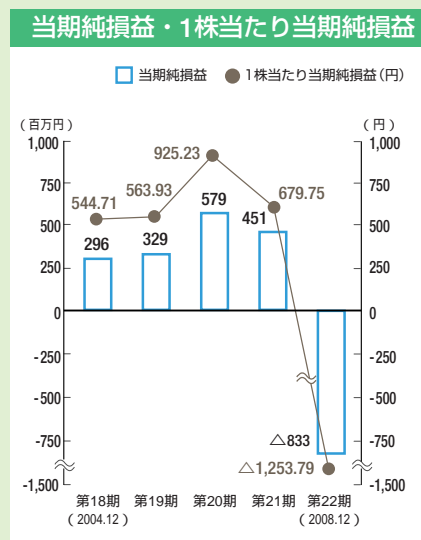
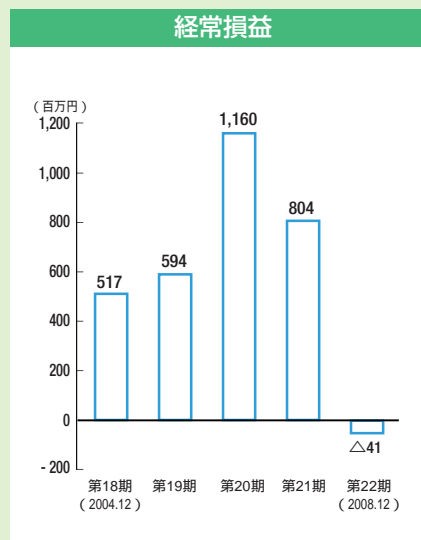
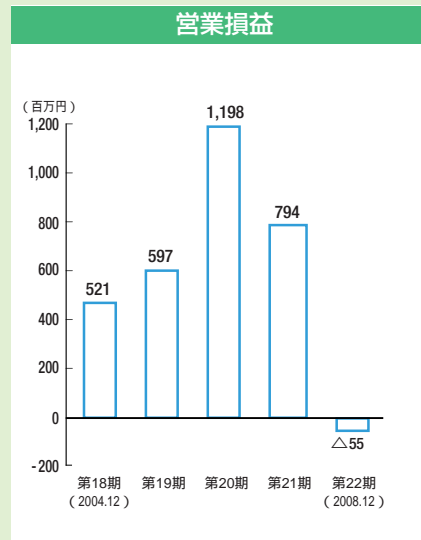
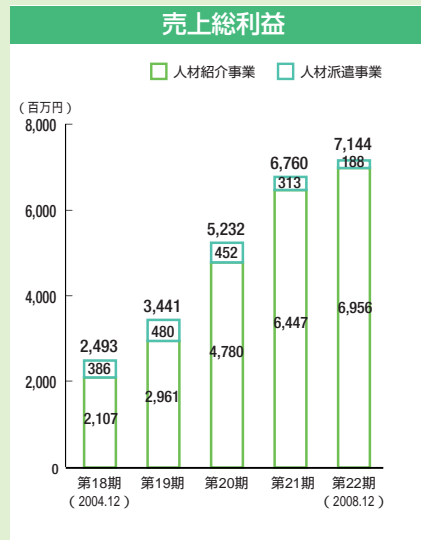
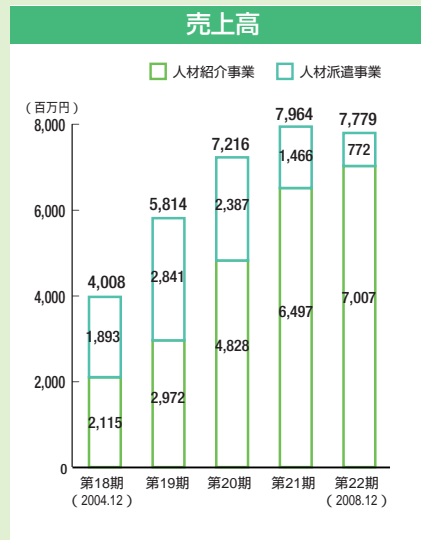
TOPIC

**one Placement creates one Plant to save the Planet**

**バリ島に約5,000本を植樹**

2008年、当社はJAC Recruitmentによってご転職された方おひとりにつき1本の苗木をインドネシアのバリ島の火山跡地に植樹する事業「PPP Project (one Placement creates one Plant to save the Planet)」を実施しました。人材紹介サービスの収益の一部を地球に還元することを目的とし、この1年間に転職された方と同じ数である約5,000本の苗木を植樹しました。当社は、転職された皆様が、この苗木のように、新たな職場でしっかりと枝葉を伸ばし、ご活躍されることを願っています。





(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。  
現在、歴史的な景気悪化に伴う雇用情勢の急速な悪化により企業の採用動向は大きく変動しており、また、当社は平成21年1月に希望退職制度を実施し、目下、事業再構築を進めております。このような状況下で、第23期の業績予想につきましては信頼性の高い数値を算出することは極めて困難であると考えており、かつ現時点での業績予想の開示は株主の皆様にかえって誤解を与えるリスクを多分に含みます。従いまして、第23期の業績予想につきましては開示しておりません。

### 株式の状況 (2008年12月31日現在)

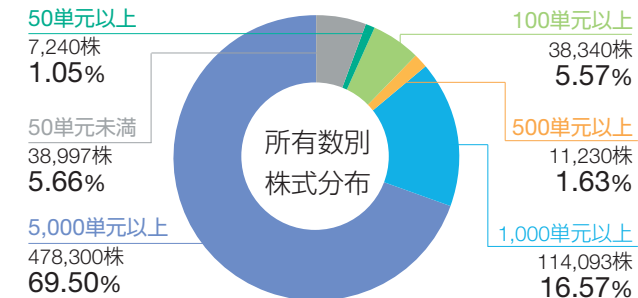
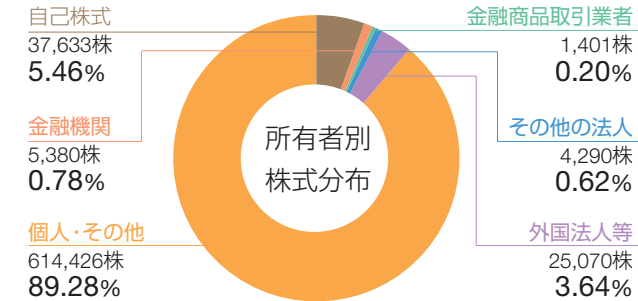
発行可能株式総数	2,400,000株
発行済株式の総数	688,200株
株主数	937名

### 大株主の状況 (2008年12月31日現在)

株主名	持株数(株)	出資比率(%)
田崎 忠良	256,540	39.43
田崎 ひろみ	119,660	18.39
金親 晋午	102,100	15.69
神村 昌志	22,430	3.44
パーシングディヴィジョンオブドナルドソン ラフキンアンドジェンレットエスイーシー コーポレーション	20,810	3.19
JAC Japan社員持株会	19,840	3.04
服部 啓男	13,380	2.05
池田 秀樹	6,000	0.92
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	5,230	0.80
大橋 茂一	4,000	0.61
増田 浩二	4,000	0.61

### 会社概要 (2008年12月31日現在)

会社名 株式会社 ジェイ エイ シー ジャパン  
本社所在地 東京都千代田区神田神保町一丁目105番地  
神保町三井ビルディング14階  
設立 1988年3月7日  
資本金 6億1,950万円  
事業内容 人材紹介事業 人材派遣事業  
社員数 810名  
営業拠点 横浜支店 名古屋支店 京都支店  
大阪支店 神戸支店 福岡支店  
海外業務提携先 JAC Recruitment UK(英国)  
JAC Recruitment Singapore(シンガポール)  
JAC Recruitment Malaysia(マレーシア)  
JAC Recruitment Indonesia(インドネシア)  
JAC Recruitment Thailand(タイ)  
JAC Recruitment China(中国)



### 役員 (2009年3月26日現在)

代表取締役社長	田崎 ひろみ
代表取締役副社長	服部 啓男
専務取締役	松園 健
取締役相談役	田崎 忠良
取締役	松岡 繁
常勤監査役	山下 実
監査役	大橋 茂一
監査役	増田 浩二